

平成19年度 和歌山県文化功労賞

はら
原

じゅん じ ろう
盾 二 郎

住 所：和歌山県田辺市

出 身 地：大阪府大阪市

生 年：昭和12年

◎業績及び経歴

昭和12年大阪市に生まれ、10歳で塩屋村(現：御坊市)に転居する。県立日高高等学校で学び、ピアノニスト矢田暎子・横井和子両氏に師事する。昭和34年に大阪学芸大学(現：大阪教育大学)特設音楽課程ピアノ卒業、同年、NHK新人演奏会に出演する。

昭和35年、県立田辺高等学校に赴任し、以来同校合唱部を率いて、NHK全国学校音楽コンクール和歌山県大会で31回、同近畿大会においても6回最優秀校となり、全国大会に出場する。全日本合唱コンクール全国大会においては、昭和54年銅賞、昭和55年銀賞、昭和59年優良賞、平成2年銅賞を獲得する。

また、市民参加型文化事業である田辺第九演奏会では、第1回より田辺第九の会の指導・育成にあたり、現在では東京や大阪の著名なオーケストラの定期演奏会に招かれるところとなり、その指導力は高く評価されている。

さらに、昭和49年から現在まで和歌山県新人演奏会選考委員、平成18年からは県と県文化振興財団主催のきのくに合唱セミナーで講師を務めるとともに、田辺市立東部小学校や県立田辺中学校の校歌を作曲するなど、幅広く活躍している。

音楽を通して、本県の文化振興に大きく寄与された功績は多大である。

■現在

音楽家・合唱活動

和歌山県合唱連盟理事長

全日本合唱連盟関西支部常任理事

■主な表彰歴等

昭和61年 田辺市文化賞